

平成27年2月6日

木津川市長 河井 規子 様

木津川市クリーンセンター施設整備事業者選定委員会
委員長 西田 薫

木津川市クリーンセンター施設整備事業者選定に係るプロポーザルの
審査結果について（報告）

標記のことについて、木津川市クリーンセンター施設を設計・施工する事業者の選定に関して、プロポーザルに参加したプラントメーカーから提出のあった技術提案書及び関係書類について、技術対話を行い、その内容を確認の上で、事業者選定基準に基づき厳正に、審査及び評価した結果、下記のとおり最優秀提案者を選定したので報告します。

記

1 最優秀提案者

株式会社 タクマ

代表取締役社長 加藤 隆昭

2 予定価格

予定価格については、本委員会の審議経過を踏まえて、木津川市において定められたい。

以 上。

クリーンセンター施設整備工事

事業者選定報告書

平成27年2月

木津川市クリーンセンター施設整備事業者選定委員会

木津川市では、本市と精華町で構成する相楽郡西部塵埃処理組合のごみ焼却施設打越台環境センターにおいて、可燃ごみを処理しているが、施設全体の老朽化が相当に進み、設備の損傷が著しい状況にある。このため、打越台環境センターに代わるクリーンセンター施設整備工事（以下、「本工事」という。）が計画され、本工事の事業者選定に必要な事項を審議することを目的に木津川市クリーンセンター施設整備事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）が設置された。

事業者選定委員会は、平成26年1月27日から平成26年8月25日まで計4回開催し、発注方式、予定価格、事業者選定の評価項目及び評価基準等について、慎重かつ集中して審議し、その結果を木津川市に報告した。

その報告に基づき、木津川市において、本工事の事業者選定方法について、価格と品質を総合的に評価するプロポーザル方式とすることが決定され、事業者選定の手続きを進めたが、プロポーザル参加者の辞退により、やむを得ず中止に至った。そこで、平成26年10月14日に事業者選定委員会を開催して、発注仕様、参加条件及びプロポーザルの手順など、必要な見直し事項について審議を行い、木津川市に報告した。

その後、改めて、木津川市において、事業者選定に取り組んだところ、プロポーザル参加者から技術提案書及び参考見積書等の提出があり、厳正かつ公正に総合評価・審査を行い、最優秀提案者を選定することが出来た。また、直近の建設事例及び参考見積書に基づき、予定価格について審議した。

事業者選定委員会で実施してきた事業者選定に係る審議及び総合評価の審査結果の総括として、ここに報告書を取りまとめた。また、相楽郡西部塵埃処理組合を構成する木津川市及び精華町の循環型社会の推進に大きく貢献するクリーンセンターの建設・稼働が、一日も早く実現することを期待する。

平成27年2月6日

木津川市クリーンセンター施設整備事業者選定委員会

クリーンセンター施設整備工事

総合評価報告書

目次

第1章 事業者選定委員会の目的.....	1
第2章 総合評価対象工事の概要.....	1
1. 工事名.....	1
2. 工事場所.....	1
3. 工事内容.....	1
4. 工期.....	1
第3章 事業者選定の方法.....	2
1. 木津川市クリーンセンター施設整備事業者選定委員会.....	2
2. 最優秀提案者選定までの経緯.....	3
3. 最優秀提案者決定の手順.....	4
4. 総合評価審査.....	6
第4章 審査手順.....	10
1. 第1段階 指名及び参加申請.....	10
2. 第2段階 技術評価.....	10
3. 第3段階 価格評価.....	10
第5章 審査結果の概要.....	11
1. 指名及び参加申請.....	11
2. 技術評価.....	11
3. 価格評価.....	15
4. 総合評価.....	15
5. 最優秀提案者の決定.....	15
6. 予定価格の検討結果.....	15
第6章 審査講評.....	16

第1章 事業者選定委員会の目的

事業者選定委員会は、木津川市内に設置する相楽郡西部塵埃処理組合打越台環境センターに代わる新たなごみ焼却施設であるクリーンセンター(仮称)の施設整備にあたって、事業者の選定に係る事項の審議及び審査するため、設置されたものである。

事業者選定委員会の所掌事務は、次に掲げるとおりである。

- (1) 事業者の公募に関すること。
- (2) 事業者の決定基準に関すること。
- (3) 技術提案書その他書類の審査及び評価に関すること。
- (4) 事業者の決定に関すること。
- (5) その他必要な事項

第2章 総合評価対象工事の概要

1. 工事名

クリーンセンター施設整備工事

2. 工事場所

木津川市鹿背山地内

3. 工事内容

1) ごみ焼却施設

- ①処理対象物： 燃やすごみ（家庭系及び事業系）※本施設稼働後は、現行の燃やすごみに加えてビニール・プラスチックごみについても燃やすごみとする。
中間処理施設からの可燃残渣（ビニール・プラスチックごみ、ビニール・プラスチック容器包装、燃やさないごみ、粗大ごみ及びペットボトルの可燃残渣）
- ②処理方式： 全連続燃焼ストーカ方式
なお、ストーカ方式とは、「ごみ処理施設整備の計画・設計要領 2006 改訂版（全国都市清掃会議）」の“Ⅱ.3 連続運転式焼却施設 3.3 焼却処理設備(3)燃焼装置”に記載のストーカ式燃焼装置による燃焼方式をいう。
- ③施設規模： 94t/日（47t/日×2 炉）
- ④余熱利用： 高効率発電設備（余剰電気は売電）、余熱利用は場内のみ
なお、高効率発電とは、高効率ごみ発電整備マニュアル（平成 21 年 3 月環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課）に規定する高効率ごみ発電施設の交付要件を満たす発電設備をいう。
- ⑤管理棟機能： 事務室、見学者説明室、見学者便所、エントランス等

2) 付属する施設

計量棟等を含めた付属施設一式を指す。

4. 工期

工期は、木津川市議会の議決を得た日の翌日から平成 30 年 9 月 30 日までとし、この間には、建設工事の設計・施工、試運転、運転指導、及び安定稼働試験等の期間を含むものとする。

ただし、最近の建設動向を踏まえて、技術提案書と併せて提出を求める工程計画案を勘案して、適切に設定することとする。

第3章 事業者選定の方法

1. 木津川市クリーンセンター施設整備事業者選定委員会

技術提案書に対する技術評価は、学識経験者を含む以下の9名の委員で組織する事業者選定委員会において行った。

表1 事業者選定委員会名簿

氏名	所属
◎ 西田 薫	京都大学元教官 工学博士
○ 吉原 福全	立命館大学理工学部機械工学科教授 工学博士
田中 達男	木津川市副市長
駒野 弘子	木津川市生活環境部長
藤林 英和 (第1回から第2回)	木津川市建設部長
若狭 朝明 (第3回から第6回)	
松尾 清敏	精華町副町長
岩前 良幸	精華町健康福祉環境部長
上村 篤司	相楽郡西部塵埃処理組合 局長
尾垣 浅美	相楽郡西部塵埃処理組合 打越台環境センター技術管理者

※◎委員長、○副委員長

2. 最優秀提案者選定までの経緯

プロポーザル実施の経過を示す。

表2 最優秀提案者選定までの経緯

主 な 内 容	日 程
第1回事業者選定委員会 (発注方式決定など)	平成26年 1月27日 (月)
第2回事業者選定委員会 (事業者選定方針、発注仕様書、予定価格審議など)	平成26年 2月24日 (月)
第3回事業者選定委員会 (事業者選定方針、発注仕様書、予定価格審議など)	平成26年 4月18日 (金)
第4回事業者選定委員会 (技術評価方法と評価基準決定など)	平成26年 8月25日 (月)
第5回事業者選定委員会 (プロポーザル(5月12日告示)の中止の確認、プロポーザル手続きの見直し審議など)	平成26年10月14日 (火)
プロポーザル参加の指名通知	平成26年11月 4日 (火)
プロポーザル実施説明書等に対する質問書の提出	平成26年11月 5日 (水) ～11月10日 (月)
プロポーザル実施説明書等に対する質問回答書の送付	平成26年11月17日 (月)
現地見学会申込書の提出	平成26年11月 5日 (水) ～11月18日 (火)
現地見学会の開催	平成26年11月20日 (木)
発注仕様書等及び現地見学会に対する質問書の提出	平成26年11月20日 (木) ～11月27日 (木)
発注仕様書等及び現地見学会に対する質問回答書の送付	平成26年12月 8日 (月)
プロポーザル参加申請書類の提出	平成26年11月 5日 (水) ～平成26年12月24日 (水)
技術提案書、参考見積書類の提出	平成26年12月24日 (水) ～平成27年 1月15日 (木)
第6回事業者選定委員会 (技術対話、総合評価、最優秀提案者の選定、予定価格審議)	平成27年 2月 6日 (金)

3. 最優秀提案者決定の手順

最優秀提案者の決定にあたっては、本工事にとって最適な事業者を選定するため、「技術提案（非価格要素）」と「価格提案（価格要素）」を総合的に評価する総合評価方式を採用し、技術提案を評価した技術点、及び参考見積価格による価格点とを合わせて総合的に評価を行い、評価点の最も高い最優秀提案者を選定した。

なお、事業者選定委員会での審査・評価においては、プロポーザル参加者の名称が特定できないように提案者名を匿名とすることで、審査の公平性を確保した。

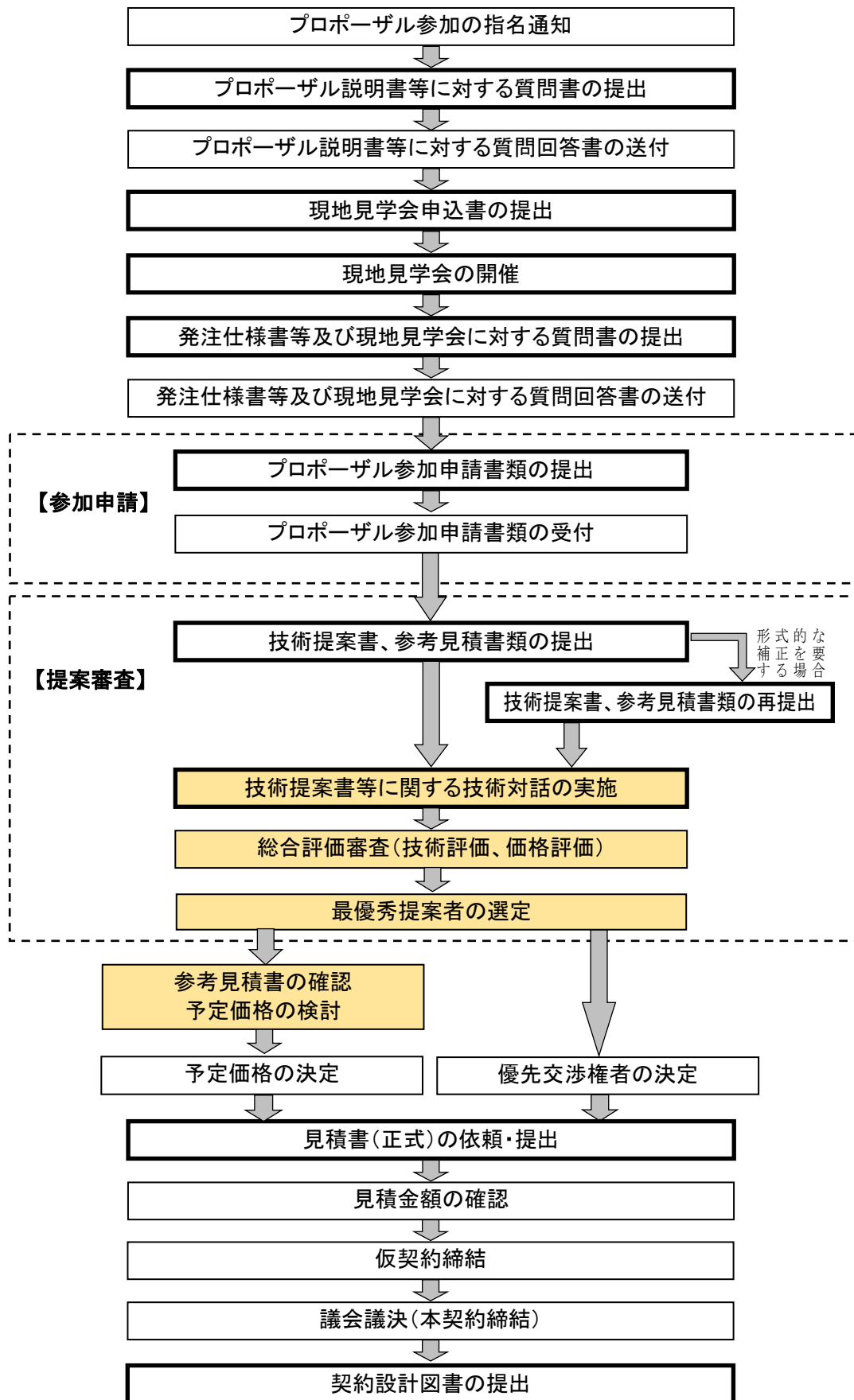


図1 事業者選定に係るフロー

□ : 参加者に関する事項
 ■ : 委員会での実施事項

4. 総合評価審査

技術評価及び価格評価による総合評価審査を実施した。

総合評価は、技術評価点と価格評価点の合計値を評価値（総合評価点）とする加算方式によることとした。

$$\text{総合評価点（100点）} = \text{技術評価点} \times 60/100 + \text{価格評価点} \times 40/100$$

- ※ 技術評価点及び価格評価点はそれぞれ 100 点満点とする。
- ※ 技術評価点と価格評価点の比率を 60 : 40 とし、それぞれの点数は、小数点以下第 3 位を四捨五入する。

(1) 技術評価点

技術評価は、表3に示す評価項目及び配点、並びに表4に示す内容評価の採点基準に基づき得点化した。得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とした。

表3 技術評価項目及び配点

評価項目		配点	
1 安心・安全で、安定した環境対策に優れたごみ焼却性能が確保された施設	①排ガス量の抑制	6	45
	②排ガスの公害防止値の保証	6	
	③安定的な燃焼技術	6	
	④焼却残渣発生抑制	6	
	⑤日常運転管理機能	6	
	⑥全炉運転期間等の最適化	5	
	⑦災害・停電、その他緊急時の対応策	5	
	⑧工事期間中の周辺環境対策	5	
2 経済性に優れ、循環型社会の形成を推進する施設	⑨施設稼働後の消耗品・機器の経済性（耐用・調達）	5	25
	⑩維持管理費	5	
	⑪熱回収の効率性及び高効率発電の実現	5	
	⑫再生可能エネルギー及び雨水利用方法	5	
	⑬省エネ・省資源化の対応	5	
3 周辺環境と調和し、住民に親しまれる施設	⑭周辺の自然環境に配慮した景観形成	4	10
	⑮環境学習機能の確保	3	
	⑯敷地内空地等の活用策	3	
4 災害対策支援機能に配慮した施設	⑰防災施設としての役割確保	10	10
5 地元経済への配慮	⑱施設整備工事による地元(木津川市・精華町)経済への波及効果	10	10
計		100	

表4 内容評価の採点基準

評価	評価内容	採点方法
A	極めて高く評価できる	配点×100%
B	高く評価できる	配点×75%
C	評価できる	配点×50%
D	やや評価できる	配点×25%
E	評価する内容でない	配点×0%

評価項目

- ◆ 評価項目毎に、技術提案書様式集の様式を用いて、技術提案の提出を求め、技術提案の提出を求め、又は上回る提案についてのみの記載を求めた。
- ◆ 技術提案書と併せて、工事工程(案)の提出を求めた。ただし、工事工程(案)は技術評価に加点しない。
- ◆ 技術提案は、本工事の特記事項として取り扱う。ただし、施設のデザイン、景観計画及び敷地内空地等の活用策など、本市の意図しない技術提案については、契約後の実施設計段階において、内容変更を指示する場合があります。

評価項目		技術提案テーマ	配点
1 安心・安全で、安定した環境対策に優れたごみ焼却性能が確保された施設	①排ガス量の抑制	煙突出口における排ガス量を抑制するための工夫・対策を示し、ごみ1トン(基準ごみ)を焼却した際の抑制効果を示して下さい。また、低空気比高温燃焼による整備実績を示して、本施設整備において、実現可能な空気比と計画ごみ量(湿り、乾き、乾き(0 _g :12%換算値))について、提案して下さい。	6
	②排ガスの公害防止値の保証	発注仕様書に規定された排ガスの各物質の公害防止値(自主基準値)を超過しないための技術的工夫・設備及び維持管理上の留意事項とそれらを維持するために要する経費について、示して下さい。	6
	③安定的な燃焼技術	計画ごみ質の変動、設備の経年劣化、並びに設備点検時などにおける1炉運転時に対して、安定かつ効率的に完全燃焼をし、発注仕様書に示した施設能力を維持・発揮するための技術的な工夫や対応を提案するとともに、その実績を示して下さい。 また、焼却性能曲線図を掲載し、負荷率90%で可能な低位発熱量の下限値、及び助燃を行わずに燃焼可能な領域を示して下さい。	6
	④焼却残渣発生抑制	ごみ1トン(基準ごみ)を焼却した際に発生する主灰量、飛灰量、水分を含んだ実際に発生する計画量とその含水率を示した上で、乾燥灰重量換算量を示して下さい。	6
	⑤日常運転管理機能	施設の運営や運転管理について、本施設の引渡しまでの運転指導の方法、及び集中管理・自動化・システム異常時対応等の方策について、提案してください。併せて、本施設の運営に必要な人員の体制についても、提案してください。(例:所長、運転責任者、計量担当者、安全誘導員、運転員、保全員、事務員等)	6
	⑥全炉運転期間等の最適化	全連続運転日数の実績と全連続運転中のトラブルとその対応策について、具体的な事例を挙げて説明をしてください。特に、自社の整備した施設での具体的なトラブル事例(試運転期間でのトラブル及び対応を含む。)があれば、その事例と対応策、並びにその後の施設整備に反映させた配慮・改善策を示して下さい。また、実績を踏まえて、焼却炉のメンテナンスに配慮して焼却炉を最適に運転するための、年間の稼働・保守計画を提案してください。	5
	⑦災害・停電、その他緊急時の対応策	災害、停電、施設の異常発生時など緊急事態を想定して、迅速かつ的確な対応策について、提案して下さい。また、停電時における悪臭対策などの緊急事態が発生した場合の環境対策を示して下さい。	5
	⑧工事期間中の周辺環境対策	工事期間中における、騒音・振動・排水などの周辺環境対策について、提案して下さい。	5
	⑨施設稼働後の消耗品・機器の経済性(耐用・調達)	消耗品等を調達する際の経済性及び競争性を確保するための工夫について、提案して下さい。また、特殊機器を含めた機器等の汎用性及び耐用年数などの経済性について、提案して下さい。	5
	2 経済性に優れ、循環型社会の形成を推進する施設	⑩維持管理費	維持管理費について、提案値を示し根拠を記述してください。(築炉、火格子部品、ボイラー本体、加熱器、バグフィルタ、触媒反応塔、タービン、発電機、復水器等) (条件)・維持管理費算定条件…基準ごみ、日当たり処理量94t/日及び68t/日、1炉あたり年間稼働日数280日
⑪熱回収の効率性及び高効率発電の実現		熱回収の効率化を図るための工夫を提案して下さい。特に仕様書及び下記に示す条件の下で、発電効率、及び年間の発電電力量及び余剰電力量を示して下さい。また、ごみ発電に要するランニングコスト(人件費、補修費、消耗品費、保守点検費等)(発電電力量あたり)について、提案して下さい。 (条件)・発電効率算定条件…2炉運転、基準ごみ、各季毎(冬期(0℃)、中間季(20℃)、夏季(35℃)) ・余剰電力量算定条件…基準ごみ、日当たり処理量94t/日及び68t/日、1炉あたり年間稼働日数280日	5
3 周辺環境と調和し、住民に親しまれる施設	⑫再生可能エネルギー及び雨水利用方法	再生可能エネルギー及び雨水利用設備について、環境学習・啓発機能に配慮した導入可能な設備計画を提案して下さい。	5
	⑬省エネ・省資源化の対応	地球温暖化防止対策として、省エネ化・省資源化によって場内消費電力の低減を図るための対策について、具体的な数値及びその根拠を示し提案してください。また、施設全体での年間の消費電力量を示して下さい。 (条件)・消費電力量算定条件…基準ごみ、日当たり処理量94t/日及び68t/日、1炉あたり年間稼働日数280日	5
	⑭周辺の自然環境に配慮した景観形成	周辺の自然環境との調和に配慮した建築物・煙突のデザイン・色彩及び敷地内の緑化など、景観形成について、考え方を示して下さい。	4
	⑮環境学習機能の確保	施設を通じて、循環型社会の形成や3Rについて、興味を持ってもらえるよう、見学ルート、見学者説明装置、その他見学者説明に関する具体的な方法について、考え方を示して下さい。	3
	⑯敷地内空地等の活用策	広く木津川市及び精華町の住民に親しまれる施設となるよう、敷地内空地及び施設の多目的利用など、住民の立場に立った施設の活用策について、提案して下さい。	3
4 災害対策支援機能に配慮した施設	⑰防災施設としての役割確保	地震、水害等の災害発生時において、本施設が防災施設として役立つよう災害対策の支援機能について、提案して下さい。	10
5 地元経済への配慮	⑱施設整備工事による地元(木津川市・精華町)経済への波及効果	地域経済の発展に貢献するため、本施設整備工事にあたり、地元(木津川市及び精華町)の土木・建築等に携わる企業の活用を予定している対象工種等、及び資材の調達やその他地域経済に対する貢献策について、提案して下さい。また、地元の土木・建築等に携わる企業の活用を予定している対象工種等及び資材の調達の割合を示して下さい。	10
	合計		100

(2) 価格評価点

1) 最低価格の評価

プロポーザル参加者の中で、最小の価格となった提案に対し、価格に関する配点の満点を付与した。

ただし、ダンピング防止及び品質確保を考慮し、提案価格が、平成 26 年 5 月 15 日にプロポーザル実施の公告（平成 26 年 10 月 16 日プロポーザル中止の公告）を行った同工事の予定価格 7,337,520,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）の 90%の金額(6,603,768,000 円)以下の場合、価格評価点は満点とした。

なお、今回のプロポーザルの予定価格については、別途定めるので、7,337,520,000 円は予定価格ではない。

2) 最低提案価格以外の提案価格の評価

最低提案価格以外の提案価格については、最低提案価格との比率を用い、下記の算式により算出した。なお、価格評価点の算出においては、提案価格が 6,603,768,000 円を下回る場合、上記 1) の規定に関わらず、価格評価点を算出する際の提案価格は 6,603,768,000 円として扱う。

得点は小数点第 3 位以下を四捨五入した値とする。

<算式>

比例方式

$$\text{価格評価点} = \text{満点の点数(100点)} \times \left(\frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}} \right)$$

第4章 審査手順

1. 第1段階 指名及び参加申請

全連続式ストーカ炉の整備実績を多数有し、かつごみ処理施設の土木建築工事に関する技術力も十分有しているプラントメーカーの参加を求める必要があることから、経営規模等評価結果通知書の清掃施設工事の総合評定値について1,300点以上のプラントメーカー(高効率ごみ発電設備を備えた全連続式ストーカ炉の整備実績を有するもの)のうち、木津川市における平成26年度建設工事競争入札参加有資格者に対して、プロポーザル参加を通知した。

その後、プロポーザル指名者から提出されたプロポーザル参加資格審査申請書を受け付けた。

2. 第2段階 技術評価

プロポーザル参加者から提出された技術提案書について、事業者選定基準に従い評価を行った。また、プロポーザル参加者に対して、技術提案書の内容を確認するための技術対話を実施した。

なお、事業者選定委員会での審査・評価においては、プロポーザル参加者の名称が特定できないように提案者名を匿名とすることで、審査の公平性を確保した。

3. 第3段階 価格評価

プロポーザル参加者から提出された見積書について、事業者選定基準に従い評価を行った。

第5章 審査結果の概要

1. 指名及び参加申請

総合評価方式によるプロポーザルの実施にあたり5者を指名し、そのうち1者からプロポーザル参加申請書が提出された。

表5 プロポーザル指名業者一覧

プロポーザル指名業者	参加申請書の提出
株式会社タクマ	提出有
日立造船株式会社	提出無
川崎重工業株式会社	提出無
JFE エンジニアリング株式会社	提出無
三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社	提出無

2. 技術評価

プロポーザル参加者から提出された技術提案書について、評価項目ごとに事業者選定委員会での合議方式により、技術評価を実施した。なお、技術評価にあたっては、審査の公平性を確保するため、プロポーザル参加者の名称が特定できないように提案者名を「コスモスグループ」とした。

また、技術提案書及び参考見積書に添付のあった参考見積根拠資料を確認したところ見積設計図書相当の内容であり、今回のプロポーザルで示した仕様書に示す技術水準を満足していた。

表6 プロポーザル参加者一覧

プロポーザル参加者
コスモスグループ

なお、技術評価を実施するにあたり、事業者選定委員会とプロポーザル参加者による技術対話を以下の日程で実施した。

実施日時：平成27年2月6日（金）

実施場所：木津川市役所全員協議会室

技術提案に対する得点結果は、表7に示すとおりである。また、評価項目に対する評価内容は表8に示すとおりである。

表7 技術提案に対する得点結果

評価項目	配点	コスモスグループ
1 安心・安全で、安定した環境対策に優れたごみ焼却性能が確保された施設	45	36.625
①ガス量の抑制	6	3.75
②排ガスの公害防止値の保証	6	6
③安定的な燃焼技術	6	3
④焼却残渣発生抑制	6	4.125
⑤日常運転管理機能	6	6
⑥全炉運転期間等の最適化	5	3.75
⑦災害・停電、その他緊急時の対応策	5	5
⑧工事期間中の周辺環境対策	5	5
2 経済性に優れ、循環型社会の形成を推進する施設	25	18.500
⑨施設稼働後の消耗品・機器の経済性（耐用・調達）	5	5
⑩維持管理費	5	0.5
⑪熱回収の効率性及び高効率発電の実現	5	5
⑫再生可能エネルギー及び雨水利用方法	5	5
⑬省エネ・省資源化の対応	5	3
3 周辺環境と調和し、住民に親しまれる施設	10	7.750
⑭周辺の自然環境に配慮した景観形成	4	4
⑮環境学習機能の確保	3	0.75
⑯敷地内空地等の活用策	3	3
4 災害対策支援機能に配慮した施設	10	10
⑰防災施設としての役割確保	10	10
5 地元経済への配慮	10	5
⑱施設整備工事による地元(木津川市・精華町)経済への波及効果	10	5
計	100	77.875

表8 技術評価項目に対する評価の内容

評価項目	評価の内容
1 安心・安全で、安定した環境対策に優れたごみ焼却性能が確保された施設	
①排ガス量の抑制	排ガス量の抑制策として、低空気比運転(空気過剰係数1.45)を提案されており、評価した。
②排ガスの公害防止値の保証	水銀の再飛散防止装置の導入等、排ガス公害防止基準値を超過しないための技術的工夫・設備が具体的に示されており、評価した。
③安定的な燃焼技術	計画ごみ質の変動に対する技術的工夫として、熱しゃく減量3%以下、燃焼室出口酸素濃度のリアルタイムな制御等、具体的に示されており、評価した。
④焼却残渣発生抑制	焼却灰 155.3kg/h/炉(wet)、飛灰 69.5kg/h/炉(wet)とし、それぞれの削減対策が具体的に示されており、評価した。ただし、本市のごみ質に対応した削減対策については、より詳細な検討が望まれる。
⑤日常運転管理機能	施設引渡しまでの運転指導の方法、集中管理・自動化・システム異常時対応策が具体的に示されており、評価した。
⑥全炉運転期間等の最適化	全連続運転日数の実績、及び全連続運転中のトラブルとその対応策、焼却炉のメンテナンスに配慮して焼却炉を最適に運転するための年間の稼働・保守計画が具体的に示されており、評価した。ただし、メンテナンススペースへの資機材搬入等のアクセシビリティ、及び全炉停止時の給電については、より詳細な検討が望まれる。
⑦災害・停電、その他緊急時の対応策	災害、停電、施設の異常発生時の緊急事態対応策及び停電時における悪臭対策等の緊急事態が発生した場合の環境対策が、具体的に示されており、評価した。
⑧工事期間中の周辺環境対策	工事期間中の排水についての周辺環境対策や、騒音・振動についての周辺環境対策について、生活環境影響調査書に示されている環境保全措置が具体的に示されており、評価した。

評価項目	評価の内容
2 経済性に優れ、循環型社会の形成を推進する施設	
⑨施設稼働後の消耗品・機器の経済性 (耐用・調達)	消耗品等を調達する際の経済性・競争性を確保するための工夫及び特殊機器の汎用性及び耐用年数について具体的に示されており、評価した。
⑩維持管理費	20年間の維持管理費として、基本設計と比較して、超過した提案であった。
⑪熱回収の効率性及び高効率発電の実現	余剰電力量と熱回収効率化及び高効率発電に要する経費について想定を大きく上回る値での提案があり、評価した。
⑫再生可能エネルギー及び雨水利用方法	再生可能エネルギー設備、環境学習機能・啓発機能が具体的に示されており評価した。
⑬省エネ・省資源化の対応	省エネ化・省資源化による場内消費電力の低減対策が具体的に示されており、評価した。
3 周辺環境と調和し、住民に親しまれる施設	
⑭周辺の自然環境に配慮した景観形成	周辺の自然環境との調和に配慮した建築物・煙突のデザイン・色彩及び敷地内の緑化の提案がされており、評価した。
⑮環境学習機能の確保	処理工程に沿った見学ルートが具体的に示されており、評価した。
⑯敷地内空地等の活用策	敷地内空地及び多目的利用等施設の活用策について具体的に示されており、評価した。
4 災害対策支援機能に配慮した施設	
⑰防災施設としての役割確保	災害対策の支援機能として、非常用発電機の燃料貯留、備蓄用倉庫、高齢者や妊婦のための畳敷き休憩室、災害廃棄物の仮置場等、具体的に提案されており、評価した。
5 地元経済への配慮	
⑱施設整備工事による地元(木津川市・精華町)経済への波及効果	地元の土木・建築等に携わる企業の活用を予定している対象工種等及び資材の調達やその他地域経済に対する貢献策について示されており、評価した。

3. 価格評価

提案価格に対し、事業者選定委員会において、価格点を決定した。

表9 価格提案に対する得点結果

プロポーザル参加者	提案者名	参考見積価格 (消費税抜)	価格点
コスモスグループ	株式会社タクマ	8,500,000,000円	100.00

※価格評価点 = 100点 × 最低提案価格 / 提案価格

4. 総合評価

技術評価及び価格審査の結果を総合的に評価し、業者選定委員会において、評価点を決定した。

表10 総合評価結果

提案者名	技術評価点 (60点満点に換算)	価格評価点 (40点満点に換算)	総合評価点 (100点満点)
株式会社タクマ	46.73	40.00	86.73

※総合評価点 (100点) = 技術評価点 × 60/100 + 価格評価点 × 40/100

5. 最優秀提案者の決定

事業者選定委員会では、事業者選定基準に基づいて公平かつ専門的な知見から審査を行い、株式会社タクマを最優秀提案者として選定した。

6. 予定価格の検討結果

事業者選定委員会では、直近の建設事例及び参考見積金額、技術対話の結果を総合的に勘案し、予定価格についての検討を行った。

表11 予定価格の検討結果

予定価格 (消費税抜)	8,330,000,000円
-------------	----------------

第6章 審査講評

総合評価方式によるプロポーザルでの本工事の発注に対して、1者から参加を受け、技術提案を受けた。プロポーザル参加者は、国内でごみ焼却施設の建設実績を豊富に有し、ごみ処理技術に精通するプラントメーカーであった。また、民間事業者が有する創意工夫やノウハウを活用した提案を受けることができた。

プロポーザル参加者である「コスモスグループ」から提出された技術提案書に対して、事業者選定基準に基づいて技術評価を実施した。具体的には、評価項目である提案テーマ毎に、提案者が提案する内容について、事前に事業者選定委員会で決定をした評価基準に基づき、提案内容が優れているか否か、どの程度優れているか、事業者選定委員会において審査した。

その結果、発注仕様書を十分に満足しており、優れた機能を持った施設整備が期待できるものと評価した。

また、参考見積書に対して、事業者選定基準に基づいて価格評価を実施した。

以上のことから、事業者選定委員会は、「コスモスグループ」(株式会社タクマ)の提案は発注仕様書を十分に満足する提案であると総合的に評価した上で、同社を最優秀提案者として選定した。

次に、事業者選定委員会では、直近の建設事例及び参考見積金額、技術対話の結果を総合的に勘案し、予定価格(消費税抜)について審議した。その結果、予定価格については、8,330,000,000円(消費税抜)となると考えられた。この価格を参考として、前提条件を勘案の上、木津川市において予定価格を定められたい。

なお、事業者選定委員会は、株式会社タクマに対し、提案書類・技術対話で提案された内容は勿論のこと、技術対話での事業者選定委員会からの意見を真摯に受け止め、誠実・確実な履行を期待するものである。

また、今後、ごみ処理行政を取り巻く状況やごみ処理施設に対するニーズ・最新技術動向が変化していく中で、技術革新や新たな提案が生じた際は、木津川市と提案者との協議・協力の上で、継続して廃棄物行政の改善に向けて積極的に取り組むことを、事業者選定委員会として要望する。

以 上。